

資料は連合軍によって収集された経済各方面の統計で、各年各月毎にまとめられ、戦前戦後の経済研究資料として欠くことのできないものであると共に、連合軍の対日政策を研究する資料でもあ

る。さらに、独立後昭和31年までの経済統計は我が国の経済発展期の状況を知り得る資料で、敗戦より経済安定期の経済史の研究に基本的な資料といえよう。

今西博士蒐集 朝鮮史原本コレクション 天理図書館蔵 667点
マイクロフィルム 154リール

元文学部教授今西龍博士は朝鮮史学を専門とした多数の書籍を所蔵されていた。退官後、中国関係書籍4,336冊は本学文学部に今西文庫として利用に供されている。一方、朝鮮本については天理図書館で所蔵され、マイクロフィルムによって購入利用することができるようになった。今回購入

したのはこのマイクロフィルムによる朝鮮史本コレクションで、667点154リールという多数の資料である。附属図書館には河合文庫という朝鮮文書類と典籍類2,160冊があり、今回の資料と併せて朝鮮史研究の資料がさらに充実され、その利用が期待される。

Knizhnaia Letopis. Year 1907-1964. Moscow. 218 vols.

本誌は、ロシア革命前1907年より約60年間に出版されたソ連の最も基本的な出版情報であり、図書に限らず、通報、パンフレット類まで収録している。さらに、人名、地名、件名の索引を付して検索しやすいようになっている。一般に、出版目録は図書館の参考図書として使われるものであるが、この出版目録は、ロシア革命前後の時代的背

景をふまえて、図書目録による当時の政治、経済、社会の事情を知りうる重要な資料である。附属図書館では、従来より主要国の出版目録や全国書誌の収集に努力しており、英、米、独、仏のそれはすでに収集し、利用に供しているが、本誌の収集によりさらに参考資料が充実され、主要国の書誌の検索が可能となった。

Heinsius,W. : Allgemeines Bücher-Lexikon, v.1-19;1700-1972. Reprint.

この図書目録は18世紀から19世紀にかけてのドイツの3大図書目録(Kayser, Hinrichs)の1つである。配列は図書、パンフレット、雑誌を著者及び書名の主要語のアルファベット順に配列し、著者からも書名からも索引できるようになってい

る。18世紀、19世紀は学術的にドイツが世界をリードしていた時代で、この時代に出版された図書目録は当時の学術研究の水準を示すものとして注目される参考資料である。

Joecher,C.G. : Allgemeines Gelehrtenlexkon. 4 vols.,7 suppl. 1750-1897. Reprint.

この人名辞典は最初1750年から1751年にかけて4冊本で出版され、続いて1784年から1897年にかけて補遺として7冊出版された。19世紀までの人

名辞典として網羅的であるが、特に中世の人物に重点をおいている。